

第87号



学校教育情報・堺

平成19年 5月28日
【企画・編集 学校教育部】

「堺・スタンダード」 進んでいますか!!

人とのかかわりあいを実感する「あいさつ運動」、豊かな心をはぐくむ「朝の読書活動」、もてなしの心を学ぶ「茶の湯体験」を「堺・スタンダード」として、昨年度より各学校園で取り組んでいただいているところです。

昨年度末に、「『堺・スタンダード』のてびき」を各学校園に配布しました。今年度は昨年度の取組に新たな工夫を取り入れた学校園も増えている状況です。

各学校園ではさらにこの「堺・スタンダード」が進むように、保護者・地域の協力を得ながら、創意工夫ある取組をお願いします。

堺市は、平成18年度から全小中学校において、

- ☆ 『あいさつ運動』を推進すること
 - ☆ 『朝の読書活動』を全校一斉に実施すること
 - ☆ 『茶の湯体験』を実施すること
- を、「堺・スタンダード」として展開しています。

「あいさつ運動」で人とのかかわりあいを!

「あいさつは、コミュニケーションを円滑に進めるための第一声」とも言われています。私たちが忘れてはならない礼儀を改めて確認し、日々の暮らしの中で継続し、実践することが大切です。

学校を訪問すると、子どもたちの元気な声が響いています。

「お願いします」「ありがとうございます」「失礼します」「失礼しました」

「おはようございます」「さようなら」「はい」「いいえ」「です」

全校集会・学年集会・授業時間等、常に子どもたちに意識づけをしながら実践に取り組んでいる学校もあります。(上野芝中学校の取組より)

学校・家庭・地域が協働し、まわりのすべての人々の理解と協力のもと取組を工夫し、推進しましょう。



(写真提供 浜寺小学校)

朝の読書活動で豊かな心を!!

読書活動は、新しい知識や情報を身に付けるだけではなく、自分の心を和ませることができます。落ち着いた心で活字に接しながら、新しい知識や情報を獲得し、想像する力を身に付けることは、新たなものを生み出す創造力の形成にもつながります。読書活動を生活の一部として習慣化させ、生涯にわたって読書し続けようとする意欲や態度を育てていくことが大切です。

各学校園では様々な工夫ある取組が展開されています。地域・保護者の協力のもと、読み聞かせを実施し、効果的に読書活動を進めています。

図書委員会の子どもたちが、定期的に低学年の子どもたちに読み聞かせをしたり、紙芝居をしたりして、朝の読書活動を進めている学校もあります。(熊野小学校の取組より)

このような取組を継続することで、朝の読書活動が定着し、本を読むことが好きな子どもたちが増えてきました。さらに、よりよい本との出会いを促し、子どもたちの読書の幅を広げるために、様々な工夫をお願いします。

本はともだち



堺っ子読書活動



(写真提供 熊野小学校)

茶の湯体験でもてなしの心を!!

千利休生誕の地・堺に育つ子どもたちが、日本の伝統文化である「茶の湯」を体験することを通して、「もてなしの心」や人とのかかわり方を学び、豊かな心をはぐくむことをねらいとして、茶の湯体験を実施しています。

修学旅行で制作した茶碗で茶の湯体験を実施したり、堺の歴史・文化、千利休の調べ学習に関連させて「茶の湯体験」を組み入れたりするなど、各学校で工夫された取組がなされています。

堺市内めぐりの校外学習の一環として大仙公園内の茶室「伸庵」での茶の湯体験を実施した学校もありました。(浅香山中学校の取組より)

今後、「もてなしの心」を学ぶ取組をお願いします。



【校舎内で茶道具のコーナーを設置】

(写真提供 浅香山中学校)

